



クラシノソコアゲ応援団！ RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.53 2017.6.6 発行責任者 連合北海道組織労働局

STOP! 長時間労働、実効ある働き方改革実現

気温 5～10℃、時折雨降るなか

上川管内全 23 市町村で訴え！ (上川)

上川管内のキャラバン行動は、6月2日(金)18時、「1条買物公園」での旭川ブロック集会でスタート。寒空の中、150名の組合員が集まり、行き交う市民へも集会の参加を呼び掛け、650枚のチラシ(ティッシュ)を配布した。連同上川地協三村会長は挨拶で、「働き方改革は労働者が実現するもの。メーデーの起源である『8時間働いて、8時間休息し、8時間は自分のために使う』をあらためて思い返し、働きすぎという日本の慣習を変えていこう」と、全ての働く者の結集を強く訴えた。ブロック集会は、富良野(3日)、名寄・士別(4日)でそれぞれ開催した。



挨拶する三村会長(中央)と木村代表(左)



挨拶する佐々木衆議(中央)

ユニオン旭川医療情報専門学校労働組合塩ノ入卓爾委員長から、経過報告とともに「不当労働行為には決して屈せず、闘う！」との決意が示された。

3日は占冠村をスタートし、北上して上川町まで。4日は中川町から南下して鷹栖町まで。上川管内全町村で街頭演説を行った。気温5℃、日中でも10℃を下回り、雨にもあたる厳しい天候のなか、各地区で役員・組合員や推薦議員にも参加いただき、最後まで元気に地域に訴え続けた。とりわけ全行程に北口雄幸北海道議会議員が同行し、ともに訴えていただいた。上川管内757キロを走破し、空知へ引き継いだ。



雨の中、名寄集會に参加した組合員等

到着集會 6月7日 12時00分 札幌紀伊國屋書店前